

### 第3章 基本目標

## 「自分を大切に 人を大切に

### ふるさと宝塚を大切に作る人づくり」

宝塚市では、今回の計画策定にあたり、平成23年度(2011年度)から平成32年度(2020年度)までの10年間の基本的な目標を掲げました。

まず、「自分を大切に」とは「自分のいのちを大切にし、自分の存在を大事に思うこと」、そして、「人を大切に」とは「自分と同じように他の人のいのちも大切にし、また、その存在を大事に考える」という意味です。

さらに、「ふるさと宝塚を大切に作る人づくり」とは、自分を育ててくれた、ふるさとである「宝塚」の自然や建物、文化、伝統に感謝の気持ちを持ち、人や物を大切に作る心を育てていきたいということを表しています。

### 第4章 今後10年を見通した教育の方向性

教育振興基本計画では、子ども、教育環境、地域、生涯学習の各視点から、今後10年を見通した4つの教育の方向性を定めました。

#### ～子どもの「生きる力」を育む～

教育の出発点は、まず、幼児教育からであり、その重要性は近年見直されてきているところです。市教育委員会では、この人間形成の基礎づくりとなる幼児教育に重点をおくとともに、小・中学校との連携を図って教育を進めます。

また、子どもたちが安心して学ぶことのできる環境を確保し、基礎基本の学力が身に付くような教育や、急激に変化する社会情勢に対応できるように、時代に沿った教育の充実に努めます。

さらに、ことばを大切にし、感性豊かな子どもを育成するため、読書活動に積極的に取り組み、読書本来の楽しさを感じ、適切な言葉で、自分の思いを伝えることができる子どもを育てます。

### ～学校園、教職員の教育力を高める～

子どもたちの学力の向上や健全な体、豊かな心を育成するためには、教員をはじめとする学校園の教育力の向上が不可欠です。そのため、市教育委員会では、教職員の人材育成や学校園組織の充実に努めます。

また、子どもたちが安心して学校園に通えるよう、学校施設の充実や教材の確保、安全・安心な給食の提供を図ります。

さらに、高度情報化社会に対応できる施設整備に努め、あわせて環境対策にも取り組んでいきます。

### ～市民全体で子どもを応援する～

子どもたちの学びへの支援は、家庭はもちろんのこと、学校と地域も連携して行うことが重要です。

地域とのつながりの薄れによる学びの機会の減少や、核家族化などによる家庭の教育力の低下が指摘されるなか、体験学習や地域人材による指導などを通して子どもの育みを支援します。

また、子育てに悩む保護者に対しては、市立幼稚園が子育ての支援センターとしての役割を果たすなど、子育て支援事業の充実に努めます。

### ～生涯を通じて学ぶことのできる環境を充実する～

人生を送る中で生涯学習は、大きな役割を担っています。市は、いつでも、どこでも、気軽に学ぶことができるよう、情報の提供や学びの機会の環境充実に努めます。

さらに、学びの成果が、個人だけでなく地域にも還元され、まちづくりに生かされるよう人材の育成を図ります。